

## 2025年度 シラバス&レクシンプラン

<b>科目</b>	<b>講師</b>	<b>提出</b>	
コミュニケーション	杉崎みどり	25年 1月 10日	
<b>学科</b>	<b>学年</b>	<b>授業の方法</b>	<b>講義</b>
国際観光ビジネス訪日科	1年	講義時限数	15
	前期 ○	単位数	2
	後期		

<講義目的> この教科を学び、どのような力・知識が身に付くのか。

日本で生活を続け、進学や就職をする前に知っておかなければならない日本のマナー、ルール、法律など、日本的なビジネスマインドやスキルを習得します。日本語学校で学んできた敬語の復習をはじめ、適切な言葉づかい、電話応対など、卒業後すぐに役立つように、さまざまな場面を想定し練習問題やロールプレイングを行います。ビジネスマナーはビジネスパーソンにとっての「パスポート」です。

<講義概要>

日常会話、ビジネス会話のレベルアップと、仕事での電話応対がスムーズにできるようワークブックに記入していきながらまとめます。さまざまな場面を想定し、ロールプレイングで練習します。ワークブックにまとめていくことで、日本語の講義を「聞きながら書く」というスキルを磨いていきます。この科目の試験は「ワークブック」が持ち込みが可能のため、きちんとまとめられていれば高評価につながります。進捗度の確認のため、ワークブックのチェックをします。

<授業の進め方>

講義  グループワーク  実技・演習  フィールドワーク  実習  
 その他( )

<授業計画全体における講義・演習・実習の割合>

講義 80 % 演習 20 % 実習 %

<到達目標レベル(何を、どのレベルに)>

- ①好感の持たれる話し方・・・仕事で使う言葉づかいに慣れるレベル。
- ②ビジネスマインド・・・法律、税金、社会保障など日本の環境と仕組みがわかるレベル。
- ③電話応対・・・日本語で電話が聞き取れ、メモが取れるレベル。(それぞれ受講者の日本語能力に合わせて)

<レクシンプラン(時限ごとの項目スケジュール概要)>

回	授業計画	テキスト・使用資料その他	学生PC利用
1	ガイダンス 日本のビジネスマナーについて(日本語の理解度チェックのため、受講者にさまざまな質問をします)	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>
2	言葉づかい(丁寧語、尊敬語、謙譲語)の復習 日本語学校で学んできたことのレベルチェック	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>
3	好感の持たれる話し方の練習問題 日本ならではの「おもてなし」の心を持った返答の仕方	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>
4	言葉づかい総復習 この授業以降は「敬語はできる」として、次のステップに入ります	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>
5	電話応対のマナー 電話の特徴とキーワードで覚える「ビジネスマインド8+1つの意識」	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>
6	受け方のポイントを事例をもとに説明	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>
7	さまざまなケースでの電話の受け方の練習 ロールプレイングあり	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>
8	電話のかけ方のポイントを事例をもとに説明	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>
9	さまざまなケースでの電話のかけ方の練習 ロールプレイングあり	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>
10	言葉づかいから電話応対まで 音読でノートチェック復習	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>
11	企業の組織図(組織図作成から、役割と責任、文書の流れ)を説明する 商法も少しやります	プリン誤配布	<input type="checkbox"/>
12	組織の中での働き方(労働基準法と関連する法律)	プリン誤配布	<input type="checkbox"/>
13	給与明細の見方、社会保障と税金	プリン誤配布	<input type="checkbox"/>
14	「挨拶は仕事の始まり」DVD 気づきと感想をレポートで提出	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>
15	前期のまとめ	コミュニケーションワークブック	<input type="checkbox"/>

<授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)>

<成績評価方法・基準>

**試験と評価方法**  試験期間中  講義時限内 **評価方法**  筆記試験( 60%)  小テスト( % )  レポート( 10%)  その他( 10%)  
 実技試験( % )  受講態度( 20%)  作品( % ) ↳ ( ノート提出 )

<教員紹介>

総合商社の航空機部で旅客機(AIRBUS)の機材調達、国内外エアラインとの折衝を担当。その後、専任講師を経て、現在は企業、学校で講師を行う。ジョブパス検定テキスト(実教出版)を執筆。日本旅のペンクラブ会員。